

「資本運営の三角形」による企業価値向上を目指して

三菱UFJフィナンシャル・グループ 執行役常務兼グループCFO 徳 成 旨 亮 CMA

このたびは、「銀行部門」及び「個人投資家向け情報提供」において、優良企業に選定され、大変光栄に存じます。アナリストの皆さまの投票により決定されるこの賞を頂戴できたことは、IR部署のみならず多くの社員にとって大きな励みとなりました。改めてお礼申し上げます。

まず、「銀行部門」は2年連続での受賞となりましたが、2015年度は、①経営陣のIR姿勢等、②自主的開示等、更に③コーポレート・ガバナンスの3項目で高い評価を頂きました。最初の点について申し上げますと、中核業務の銀行業は免許事業であり、国内外の金融当局のルールの中で業務や自己資本運営を行うと同時に、上場企業として資本の効率性を追求し株主のご期待に応える必要があります。このバランスについて、会社説明会等の場で投資家の皆さまに経営陣が自らの言葉で丁寧にご説明するよう心がけてきたことが、評価につながったものと考えています。

また、2点目の自主的開示ですが、弊社は、商業銀行業務に加え、信託、証券、消費者金融、クレジットカード等幅広い事業をグローバルに展開している総合金融グループです。多岐にわたる業務内容をご理解いただくため、5つの事業本部のトップが各事業の戦略を説明する「MUFG Investors Day」を毎年開催しているほか、「事業戦略セミナー」と称して投資家の皆さまの関心が高いテーマをタイムリーにご説明しています。15年度は、13年に買収したタイのアユタヤ銀行の戦略について、同行CEOよりご説明させていただきましたが、今後も、同様の機会を積極的に設けてまいります。

3点目のコーポレート・ガバナンスでは、弊社は15年度、指名委員会等設置会社に移行し、17名の取締役のうち9名は非執行取締役（2名は女性）となっています。資本政策や政策投資株式への対応等を含む重要事項について、執行サイドと社外取締役が深度のある議論を行っています。

「個人投資家向け情報提供」は、今回初の受賞となりました。ホームページを通じた情報開示や個人投資家向けセミナーの開催に加え、15年度、初めて発行した統合報告書の内容をご評価いただいた結果だと理解しております。引き続き、個人投資家の皆さまに分かり易い情報開示に努めてまいります。

さて、投資家の皆さまの関心の高い資本政策について弊社では、①充実した自己資本の維持、②戦略出資を含む収益力強化に向けた資本活用、③株主還元の一層の充実という“資本運営の三角形”のバランスを常に考えていくこととしています。今後もこの三角形をベースに皆さまとの対話を行い、経営ビジョンに掲げる「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」の実現に向け企業価値の向上に努めてまいりますので、よろしくご指導・ご支援のほどお願い申し上げます。

